昭和大学新聞

学校法人 昭和大学
発行人 小口勝司
電話（3784）8000 〒142-8555
東京都品川区旗の台1の5の8
1部50円 毎月1回発行

4月号の内容

1面
・昭和大学卒業式
・昭和大学大学院修了式
・医学部附属看護専門学校卒業式
2面
・医学部長就任あいさつ
・大学院留学生修了証授与式
・昭和大学助産学専攻科修了式
・就任のお知らせ
・昭和大学サポート寄付制度 上條記念館座席プレート申込み状況
3面
・卒業生・修了生一覧
・令和２年度第Ⅱ期大学・看護専門学校入学試験結果
・令和２年度春季大学院入学試験結果
4面
・昭和大学の思い出
・新型コロナウイルス感染対策

〔問合せ先〕
【本紙について：総務課出版・WEB係】
03-3784-8059
press@ofc.showa-u.ac.jp
【各種募金・寄付・90周年事業について：企画課】
03-3784-8387
【学事について：学務課、大学院課、入学支援課】
03-3784-8022（旗の台）
0555-22-4403（富士吉田）
045-985-6503（横浜）
03-3784-8026（入学支援課）

令和元年度 卒業式

医学部：第88回
歯学部：第38回
薬学部：第52回
保健医療学部：第20回

上條賞を受賞した家泉裕香さん（歯学部）

令和元年度昭和大学卒業式が3月18日、パシフィコ横浜国立大ホールで挙行され、医学部112名、歯学部92名、薬学部167名、保健医療学部157名（看護学科107名、理学療法学科37名、作業療法学科13名）の合わせて528名が医療人としての門出を迎えた。今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため卒業生および一部の教育職員のみで規模を縮小して執り行われた。

式典は久光正学長から各学部の総代に学位記が授与され、その後に告辞（別掲）が行われた。

また、在校生代表は送辞で「大きな壁や困難に直面しても、多職種連携を幾度となく経験し仲間と協力することの素晴らしさを知っている先輩方なら、乗り越えることができると確信しております」と思いを込めて読み上げた。

告辞を述べる久光正学長

卒業生代表は答辞で、これまで支えてくれた多くの方への感謝を表すとともに「昭和大学から発信する医療の和を広げていくことが令和という新たな時代を担う私たちの使命だと考えています。今後も日々の学びを怠ることなく病に向き合う患者さんに寄り添って力になれるよう精進していきます」と抱負を述べた。

卒業生代表の答辞

式典終了後は学位記伝達式が執り行われ、一人ひとりに学位記が手渡された。また、在学中に優秀な結果を残した卒業生に贈られる上條賞、同窓会賞、上條旗ヶ岡賞、上條旗ヶ岡功労賞、そして最優秀スチューデント・インストラクター賞の授与も行われた。

学位記伝達式

【上條賞】右から
保健医療学部看護学科　明石ほのか
薬学部　宗友　咲子
歯学部　家泉　裕香
（ほか医学部1名）

【上條旗ヶ岡功労賞】右から
医学部　久保田仁美（白馬診療部）
医学部　田中　優希（救急医療研究部）

【上條旗ヶ岡賞】右から
保健医療学部理学療法学科　高橋　悠太（準硬式野球部）
薬学部　石原　麻美（水泳部）
歯学部　田上理沙子（卓球部）
医学部　山本晴二郎（準硬式野球部）

学長告辞　久光　正

本日卒業を迎えられた皆さん、ご卒業おめでとうございます。

皆さんは6年前あるいは4年前に将来医療人になることを志して昭和大学に入学されました。これは経済学的な言葉を用いれば、皆さんが皆さんの青春を昭和大学に投資したということになります。6年間ないし4年間の学修期間・成熟期間を経て、本日を迎えたわけです。

本学の教育は建学の精神である至誠一貫の精神に基づいて行われています。まごころをもって患者さんに尽くし、医療を通して広く社会に貢献する医療人を育てるということです。本学の全課程を修了した皆さんは至誠一貫の精神とともに巣立っていくことになります。

皆さんはこれからさまざまな場面で患者さんと接するわけですが、患者さんの「患」の字を思い浮かべてください。心に串が刺さっている、そういう漢字に見えます。患者さんは病気やケガで体が痛んでいると同時に、全ての患者さんの心には串が刺さっている。心も痛んでいる状態であることを忘れないでください。患者さんの体の痛みをとることとあわせて心の串を抜くことを皆さんがこれから行う医療の中で忘れずにしていただきたいと思います。

これから多くの患者さんを診るうちに、患者さんが普通の人として映ってくることがあるかもしれません。その時はぜひ患者さん一人ひとりを皆さんのおじいさん、おばあさん、お父さん、お母さん、兄弟あるいは子供といった自分の家族と思って接していただきたいと思います。そうすれば至誠一貫の心がより表れやすくなると思います。

そして医療を担う病院で働く中でぜひ忘れないでほしいことは、医療の進歩は非常に速いということです。それぞれの専門分野ではさまざまな治療方法・検査方法などの開発が非常な勢いで進められています。常に研究心・向上心をもって前向きな気持ちでそれぞれが理想とする医療人を目指して進んで下さい。

私が皆さんと同じぐらいの年、卒業式で心に染み込んだサミュエル・ウルマンの詩の一節をご紹介します。「青春とは人生のある期間を言うのではなく心の様相を言うのだ。優れた創造力、逞しき意志、燃ゆる情熱、怯懦を却ける勇猛心、安易を振り捨てる冒険心、こう言う様相を青春と言うのだ。年を重ねただけで人は老いない。理想を失う時に初めて老いがくる」

皆さんが理想に向かっていつまでも青春であり続ける人生を送られることを願い、学長告辞といたします。ご卒業おめでとうございます。

令和元年度昭和大学大学院修了式

令和元年度昭和大学大学院修了式が3月24日、上條記念館で挙行され、医学研究科28名、歯学研究科20名、薬学研究科12名、保健医療学研究科前期課程11名、同後期課程1名の合わせて72名が研究者としての門出を迎えた。

久光正学長は告辞で「これからが皆さんの研究生活の始まりです。真摯な気持ちで研究を続けて多くの新しい発見を世に伝えていただきたいと思います」と修了生のさらなる飛躍に期待を寄せた。また、各研究科長からも挨拶があり、小風暁医学研究科長は「それぞれの専門分野のリーダーだけではなく、社会のリーダーとしても活躍されることを期待しています」とエールを送った。

式典では、在学中に学業・人物ともに優秀であった修了生に贈られる上條賞の授与も行われた。

【上條賞】右から
薬学研究科　日暮　大渡
歯学研究科　畔津　佑季
医学研究科　猪狩　雄蔵

医学部附属看護専門学校卒業式

医学部附属看護専門学校の卒業式が3月6日、上條記念館で挙行され、145名が卒業を迎えた。今年は新型コロナウイルス感染拡大予防のため卒業生と大学関係者のみで執り行われ、久光正学校長から総代に卒業証書が授与された。

久光学校長は告辞で「皆さんは知識や技術はまだ半人前かもしれませんが、患者さんや看護に対する気持ちは、もう十分に一人前です。笑顔を忘れずに真心をこめて看護を行う素晴らしい看護師として活躍されることを信じています」と述べ、卒業生の門出を祝福した。

卒業生代表は答辞で、支えてくれた教育職員や家族に感謝を述べ「本学で学び培った知識・技術を土台に自分自身を研鑽し、顔を見ただけで安心してもらえるような看護師を目指し、生涯にかけて努力し続けます」と決意を表した。

式典では、在学中に学業・人物ともに優秀であった卒業生に贈られる鈴木モヨ賞、石井満賞、そして昭桜会賞の授与も行われた。

卒業証書授与